



トピックセミナー

災害時対策と

復旧復興への道のり

～当事者と家族の立場から～

2011年3月に発生した東日本大震災は、地震・津波・原発事故の3つが重なる未曾有の大災害でした。当時、非常用備品や耐震工事、災害対応マニュアルや支援ツールがもっと十分に揃えていれば、被害はもっと軽減され、復興はもっと早くなったのでしょうか。

それぞれが現場支援者であり、自閉症のお子さんを持つ親でもある菅野さん、津田さんをお招きして、震災時の状況を振りかえり、その後の取り組みについて語っていただきます。菅野さんには被災されたご自身の経験から現在に活かされていることについて、また、津田さんには災害に備える視点を中心に自閉症協会や事業所の取り組みについて取り上げていただきます。

この機会に、私たちは日頃からどのような備えをし、もし災害が発生した場合にはどのように対応していかなければならないのか。お二人のご講演から学び、一緒に考えていきたいと思えます。

日時 : 2021年1月23日 (土) 13:30~16:30

会場 : 大阪府社会福社会館

受講料 : 年間パスあり : 1,000円 一般 : 3,000円

定員 : 100名

※プログラム、講師等は変更することがございます。予めご了承ください。

講師プロフィール

菅野 友美子 氏

東日本大震災の1か月後、2011年4月ボランティアで放課後支援ゆうゆうクラブを設立。同年、福島県被災地事業「被災した障がい児に対する相談援助事業」としてクラブを継続され、2018年より、「一般社団法人ちやれんじどさぽーと」を設立し、代表理事をしながら、管理者/児童発達支援管理責任者としてご活躍中。ご自身も重度知的障害を伴う自閉症のお子さんを育てられている。



津田 明雄 氏

平成12年、任意団体のクローバーを設立、その後、NPO法人格を取得し、静岡県湖西市で児童期から成人期まで生涯にわたり継続した各種支援事業を展開しています。ご自身も自閉症の娘さんを持つ父親として、特定非営利活動法人クローバーの会長や静岡県自閉症協会会長を務められ、さまざまな活動に取り組む中で、事業所での災害対策や自閉症協会としての災害時の検討や行政折衝などにも積極的に取り組まれています。



